

News Letter

2021年

6月

中国四国農政局
香川県拠点

満濃池のユル抜きで水勢いよく

令和3年6月15日、香川県満濃池土地改良区が主催する恒例の「満濃池のユル抜き」が行われました。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響で、関係者のみで行われました。



神野神社本殿での式典

池の守護神を祀る神野（かんの）神社本殿で、昨年と同様に土地改良区の関係者のみで神事を行い、今年の豊作を祈願しました。満濃池のユル抜きは、讃岐平野に田植えシーズンの到来を告げる初夏の風物詩となっています。

神事後、正午に取水塔の取水ハンドルを回して池の水が抜かれると、堰堤下の放水口から勢いよくゴオーゴオーと音を立て水が流れ出しました。

今年は5月の降雨量が多く、この日の満濃池の貯水率は91.5%で1,409万トンと満水時は1540万トン、例年より多い貯水量となっています。

満濃池は、701～704年頃（大宝年間、この時代の天皇は文武天皇）に讃岐国司・道守朝臣（みちもりのあそん）が築いたと言われています。洪水によって何度も決壊と再築を繰り返し、修復工事が難航を極めた821年に、唐で水利土木技術を学んだ空海（弘法大師）が派遣され、見事、工事を成功に導いたと伝えられています。

また、満濃池は、農林水産省が全国に約21万か所あるため池の中から生活への役割と保全の必要性を考慮して選定した「ため池100選」の一つでもあります。



取水塔の取水ハンドルを回す

関係者は「来年こそは、県知事など来賓を招いた盛大な式典を開催したい。また、多くの観光客に夏の風物詩を楽しんでいただきたい」と語っていました。

※土地改良区によると、今後は毎秒5トンの放水を一週間ほど続ける予定であり、その後は、天候や稲の生育状況に合わせて調整されるとのことでした。

※土地改良区の許可を受け、取材しました。



放水口から水が勢いよく流れる

消費者への「てまえどり」を呼びかけています

農林水産省は、食品ロス削減に向け、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、消費者庁、環境省と連携して、小売店舗が消費者に対して、商品棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」を呼びかける取組を、2021年6月1日から行っています。

小売店舗における、消費者への「てまえどり」の呼びかけを促進するため、農林水産省が一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（以下「協会」）、消費者庁、環境省と共同で、ポップを作成しました。ポップは、協会加盟のコンビニエンスストア4社にて、商品棚に掲示されるほか、ホームページ上で提供されます。

<参加企業>※五十音順

セブン-イレブン、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン

<ポップの掲示>

2021年6月1日(火曜日)から順次、協会加盟コンビニエンスストアにて展開予定

【展開イメージ】



<ポップの提供>

ダウンロード可能です。

ご利用になる場合は、下記URLよりダウンロードをお願いします。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/temaedori.html

<関連サイト>

(1) 消費者庁 [食品ロス削減] 食べ物のムダをなくそうプロジェクト

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/

(2) 農林水産省 外食における食品ロス対策

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/170516.html

(3) 環境省 食品ロスポータルサイト

<https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>

(4) 一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会

<https://www.jfa-fc.or.jp/>

編集：中国四国農政局 香川県拠点

〒769-0019 高松市サンポート3番33号

TEL(087)883-6500(内線3513) FAX(087)883-6504 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>